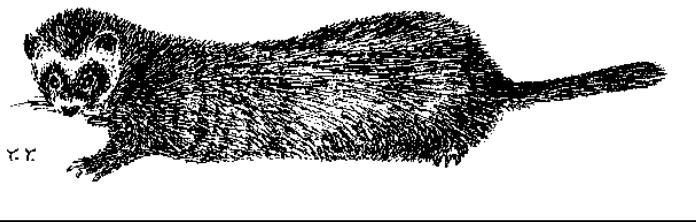
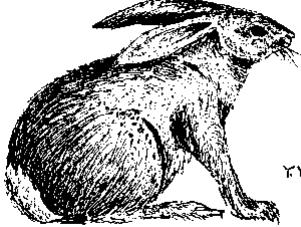


関税分類例規集新旧対照表

	新	旧	備考
0106.19	<p><u>1. フェレット</u></p> <p>イタチ科、ケナガイタチ属で野生のイタチを馴化したものといわれている。頭は比較的小さく、目がくりくりしている。耳は大きくない。首と胴が長いのが特徴で、毛はしなやか、体の動きは柔軟である。雌の体重は 650 ~ 1.1kg、雄の体重は 1.2 ~ 2.0kg、体長は平均 30 ~ 40cm、尾の長さは 10 ~ 15cm で柔らかい毛に覆われている。</p> <p><u>フェレットの毛色</u></p> <p>フェレットにはセーブル、バタースコッチ、シルバーミット、ホワイトファー・ブラックアイ、アルビノの 5 つの代表的毛色がある。セーブルは最もフェレットらしく、暗い茶色の毛色で顔に隈取りがある。表情が可愛く日本ではこの種類がよく売られている。バタースコッチは柔らかいうす茶色の毛色が特徴。アルビノは全身が白く、目が赤い。シルバーミットは手足の先が白く、全身がグレーで胸元の毛は白い。ホワイトファー・ブラックアイは全身が白く、目が黒い。</p> 	<p>0106.00</p> <p><u>1. フェレット</u></p> <p>イタチ科、ケナガイタチ属で野生のイタチを馴化したものといわれている。頭は比較的小さく、目がくりくりしている。耳は大きくない。首と胴が長いのが特徴で、毛はしなやか、体の動きは柔軟である。雌の体重は 650 ~ 1.1kg、雄の体重は 1.2 ~ 2.0kg、体長は平均 30 ~ 40cm、尾の長さは 10 ~ 15cm で柔らかい毛に覆われている。</p> <p><u>フェレットの毛色</u></p> <p>フェレットにはセーブル、バタースコッチ、シルバーミット、ホワイトファー・ブラックアイ、アルビノの 5 つの代表的毛色がある。セーブルは最もフェレットらしく、暗い茶色の毛色で顔に隈取りがある。表情が可愛く日本ではこの種類がよく売られている。バタースコッチは柔らかいうす茶色の毛色が特徴。アルビノは全身が白く、目が赤い。シルバーミットは手足の先が白く、全身がグレーで胸元の毛は白い。ホワイトファー・ブラックアイは全身が白く、目が黒い。</p> 	

(写真提供 エキゾチック ペット クリニック 霍野 晋吉)

関税分類例規集新旧対照表

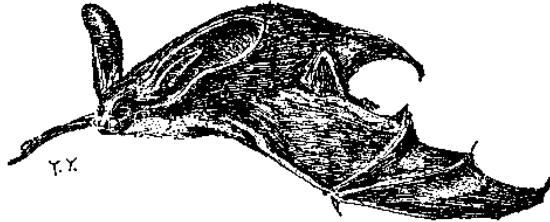
新		旧		備考																																								
0106.19	<p><u>2.うさぎ目</u></p> <p>うさぎは大人にも子供にも人気のあるペットである。うさぎ目はウサギ科とナキウサギ科にわかれ。一般に売られているうさぎは、毛皮用、食肉用、実験用、愛玩用等の品種を含め、全てウサギ科カイウサギ属のアナウサギを家畜化したものである。上顎の大きな一対の門歯の奥に、第二門歯を持つ点が齧歯類と異なる。愛玩用にはヒマラヤン、イングリッシュ、ダッヂ、ポーリッシュ種及びその改良種がある。</p> <hr/>  <hr/> <table> <tbody> <tr> <td>種類</td><td>ネザーランド・ドwarf種 (ピーターラビット)</td><td>アンゴラ種</td><td>日本白色種</td></tr> <tr> <td>原産地</td><td>オランダ</td><td>トルコ</td><td>日本</td></tr> <tr> <td>体長</td><td>25cm</td><td>30cm</td><td>40cm</td></tr> <tr> <td>体重</td><td>1~1.5kg</td><td>1.8~3.5kg</td><td>4~5kg</td></tr> <tr> <td>毛色</td><td>褐色又は薄いグレー 目は黒</td><td>黒、赤、 褐色、グレーなど</td><td>白、目は赤</td></tr> </tbody> </table> <p>(図削除)</p>	種類	ネザーランド・ドwarf種 (ピーターラビット)	アンゴラ種	日本白色種	原産地	オランダ	トルコ	日本	体長	25cm	30cm	40cm	体重	1~1.5kg	1.8~3.5kg	4~5kg	毛色	褐色又は薄いグレー 目は黒	黒、赤、 褐色、グレーなど	白、目は赤	0106.00	<p><u>2.うさぎ目</u></p> <p>うさぎは大人にも子供にも人気のあるペットである。うさぎ目はウサギ科とナキウサギ科にわかれ。一般に売られているペット用うさぎは全てウサギ亜科のアナウサギ属由来である。上顎に大きな一対の門歯の奥に、第二門歯を持つ点が齧歯類と異なる。毛皮用、食肉用、実験用等の品種もあるが、愛玩用にはヒマラヤン、イングリッシュ、ダッヂ、ポーリッシュ種及びその改良種がある。</p>  <p>(写真提供 エキゾチック ペット クリニック 霍野 晋吉)</p> <p>カイウサギには多くの品種があるが、代表的には以下の品種がある。</p> <table> <tbody> <tr> <td>種類</td><td>ネザーランド・ドwarf種 (ピーターラビット)</td><td>アンゴラ種</td><td>日本白色種</td></tr> <tr> <td>原産地</td><td>オランダ</td><td>トルコ</td><td>日本</td></tr> <tr> <td>体長</td><td>25cm</td><td>30cm</td><td>40cm</td></tr> <tr> <td>体重</td><td>1~1.5kg</td><td>1.8~3.5kg</td><td>4~5kg</td></tr> <tr> <td>毛色</td><td>褐色又は薄いグレー 目は黒</td><td>黒、赤、 褐色、グレーなど</td><td>白、目は赤</td></tr> </tbody> </table>   	種類	ネザーランド・ドwarf種 (ピーターラビット)	アンゴラ種	日本白色種	原産地	オランダ	トルコ	日本	体長	25cm	30cm	40cm	体重	1~1.5kg	1.8~3.5kg	4~5kg	毛色	褐色又は薄いグレー 目は黒	黒、赤、 褐色、グレーなど	白、目は赤	
種類	ネザーランド・ドwarf種 (ピーターラビット)	アンゴラ種	日本白色種																																									
原産地	オランダ	トルコ	日本																																									
体長	25cm	30cm	40cm																																									
体重	1~1.5kg	1.8~3.5kg	4~5kg																																									
毛色	褐色又は薄いグレー 目は黒	黒、赤、 褐色、グレーなど	白、目は赤																																									
種類	ネザーランド・ドwarf種 (ピーターラビット)	アンゴラ種	日本白色種																																									
原産地	オランダ	トルコ	日本																																									
体長	25cm	30cm	40cm																																									
体重	1~1.5kg	1.8~3.5kg	4~5kg																																									
毛色	褐色又は薄いグレー 目は黒	黒、赤、 褐色、グレーなど	白、目は赤																																									

関税分類例規集新旧対照表

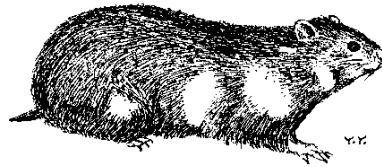
	新	旧	備考
0106.19	<p>3. おおこうもり科</p> <p>翼手目は極地を除く世界中に分布し、約 1000 種が知られている。</p> <p>旧世界（マダガスカル島からインド、インドシナ半島および太平洋上の島々）の熱帯雨林に分布するオオコウモリ亜目（約 200 種）と世界中に分布する小コウモリ亜目に分かれる。おおこうもりはフルーツバットと呼ばれ、比較的大型（20～1500 g）で、もっぱら植物食（果実、花、花蜜、花粉）である。夜に目で果物を探すため、目が大きく、鼻が尖っていて高貴な顔つきであり、キツネ顔なのでフライングフォックスとも呼ばれる。ペットとして輸入されるほとんどはおおこうもり（エジプトルーセット）である。おおこうもり科の代表的なものは、エジプトルーセットオオコウモリ、アンゴラフルーツコウモリ、マスクオオコウモリ、テングフルーツオオコウモリなどがある。</p> 	<p>3. おおこうもり科</p> <p>翼手目は極地を除く世界中に分布し、約 1000 種が知られている。</p> <p>旧世界（マダガスカル島からインド、インドシナ半島および太平洋上の島々）の熱帯雨林に分布するオオコウモリ亜目（約 200 種）と世界中に分布する小コウモリ亜目に分かれる。おおこうもりはフルーツバットと呼ばれ、比較的大型（20～1500 g）で、もっぱら植物食（果実、花、花蜜、花粉）である。夜に目で果物を探すため、目が大きく、鼻が尖っていて高貴な顔つきであり、キツネ顔なのでフライングフォックスとも呼ばれる。ペットとして輸入されるほとんどはおおこうもり（エジプトルーセット）である。おおこうもり科の代表的なものは、エジプトルーセットオオコウモリ、アンゴラフルーツコウモリ、マスクオオコウモリ、テングフルーツオオコウモリなどがある。</p> 	

（出典「コウモリ」八坂書房）

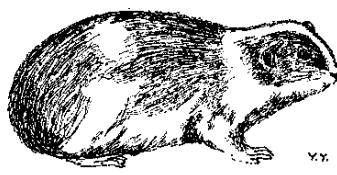
関税分類例規集新旧対照表

	新	旧	備考
0106.19	<p><u>4. その他のもの（翼手目）</u></p> <p>ここうもりは超音波で餌を探すので、顔面が平たくつぶれており、超音波の発信部位である鼻は複雑な構造になっている。また超音波の受容器である耳は異常に大きく、構造も複雑で耳珠を持つ。食虫コウモリの他にウオクイ（魚を狩る）コウモリ、チスイ（吸血）コウモリがいる。ブタ顔で醜いのであまりペットとして売られることはない。</p> <p>ここうもりの代表的なものにはキクガシラコウモリ、カグラコウモリ、ミゾコウモリ、アラコウモリなどがある。</p> 	<p><u>4. その他のもの（翼手目）</u></p> <p>ここうもりは超音波で餌を探すので、顔面が平たくつぶれており、超音波の発信部位である鼻は複雑な構造になっている。また超音波の受容器である耳は異常に大きく、構造も複雑で耳珠を持つ。食虫コウモリの他にウオクイ（魚を狩る）コウモリ、チスイ（吸血）コウモリがいる。ブタ顔で醜いのであまりペットとして売られることはない。</p> <p>ここうもりの代表的なものにはキクガシラコウモリ、カグラコウモリ、ミゾコウモリ、アラコウモリなどがある。</p>  <p>(出典「コウモリ」八坂書房)</p>	

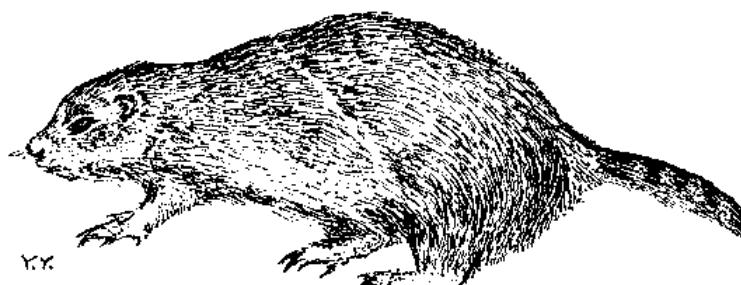
関税分類例規集新旧対照表

新		旧		備考																																								
0106.19	<p><u>5. ハムスター</u></p> <p>ハムスターはキヌゲネズミ科に属し、自然生息地はヨーロッパ、中近東、アジア大陸である。体は全体に丸くしてあり、体長の割に胴回りが大きく、四肢が短いので、動作は敏捷でなく腹面を床に着けるように歩行する。尾は極めて短く、頬には餌を入れておく頬袋を持っているのが特徴である。よく知られているものにはシリアンハムスター、ジャンガリアンハムスター、ユーロピアンハムスター、チャイニーズハムスターがある。</p>  <p>ペットとして飼われている主なハムスターには以下の3種がある。</p> <table> <thead> <tr> <th>種類</th><th>ゴールデンハムスター</th><th>キャンベルハムスター</th><th>チャイニーズハムスター</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体長</td><td>18 cm</td><td>7 ~ 12 cm</td><td>9 ~ 12 cm</td></tr> <tr> <td>体重</td><td>80 ~ 150 g</td><td>30 ~ 45 g</td><td>25 ~ 40 g</td></tr> <tr> <td>毛色</td><td>背面は茶褐色、 頬、頸側部、 腹は白、目は黒</td><td>褐色、茶、白、 グレーなど</td><td>毛根部は黒 背面はグレー 腹部は白</td></tr> <tr> <td>備考</td><td>シリアンハムスター とも呼ばれる。</td><td>キャンベルハムスター、 ロボロフスキーリン ジャンガリアン の小型3種を総称して ドワーフ(矮小)ハムスター ともいう。</td><td>大きさはゴールデン とドワーフの中間</td></tr> </tbody> </table> <p>(図削除)</p>	種類	ゴールデンハムスター	キャンベルハムスター	チャイニーズハムスター	体長	18 cm	7 ~ 12 cm	9 ~ 12 cm	体重	80 ~ 150 g	30 ~ 45 g	25 ~ 40 g	毛色	背面は茶褐色、 頬、頸側部、 腹は白、目は黒	褐色、茶、白、 グレーなど	毛根部は黒 背面はグレー 腹部は白	備考	シリアンハムスター とも呼ばれる。	キャンベルハムスター、 ロボロフスキーリン ジャンガリアン の小型3種を総称して ドワーフ(矮小)ハムスター ともいう。	大きさはゴールデン とドワーフの中間	0106.00	<p><u>5. ハムスター</u></p> <p>ハムスターはキヌゲネズミ科に属し、自然生息地はヨーロッパ、中近東、アジア大陸である。体は全体に丸くしてあり、体長の割に胴回りが大きく、四肢が短いので、動作は敏捷でなく腹面を床に着けるように歩行する。尾は極めて短く、頬には餌を入れておく頬袋を持っているのが特徴である。よく知られているものにはシリアンハムスター、ジャンガリアンハムスター、ユーロピアンハムスター、チャイニーズハムスターがある。</p>  <p>(写真提供 エキゾチック ペット クリニック 霍野 晋吉)</p> <p>ペットとして飼われている主なハムスターには以下の3種がある。</p> <table> <thead> <tr> <th>種類</th><th>ゴールデンハムスター</th><th>キャンベルハムスター</th><th>チャイニーズハムスター</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体長</td><td>18 cm</td><td>7 ~ 12 cm</td><td>9 ~ 12 cm</td></tr> <tr> <td>体重</td><td>80 ~ 150 g</td><td>30 ~ 45 g</td><td>25 ~ 40 g</td></tr> <tr> <td>毛色</td><td>背面は茶褐色、 頬、頸側部、 腹は白、目は黒</td><td>褐色、茶、白、 グレーなど</td><td>毛根部は黒 背面はグレー 腹部は白</td></tr> <tr> <td>備考</td><td>シリアンハムスター とも呼ばれる。</td><td>キャンベルハムスター、 ロボロフスキーリン ジャンガリアン の小型3種を総称して ドワーフ(矮小)ハムスター ともいう。</td><td>大きさはゴールデン とドワーフの中間</td></tr> </tbody> </table> 	種類	ゴールデンハムスター	キャンベルハムスター	チャイニーズハムスター	体長	18 cm	7 ~ 12 cm	9 ~ 12 cm	体重	80 ~ 150 g	30 ~ 45 g	25 ~ 40 g	毛色	背面は茶褐色、 頬、頸側部、 腹は白、目は黒	褐色、茶、白、 グレーなど	毛根部は黒 背面はグレー 腹部は白	備考	シリアンハムスター とも呼ばれる。	キャンベルハムスター、 ロボロフスキーリン ジャンガリアン の小型3種を総称して ドワーフ(矮小)ハムスター ともいう。	大きさはゴールデン とドワーフの中間	
種類	ゴールデンハムスター	キャンベルハムスター	チャイニーズハムスター																																									
体長	18 cm	7 ~ 12 cm	9 ~ 12 cm																																									
体重	80 ~ 150 g	30 ~ 45 g	25 ~ 40 g																																									
毛色	背面は茶褐色、 頬、頸側部、 腹は白、目は黒	褐色、茶、白、 グレーなど	毛根部は黒 背面はグレー 腹部は白																																									
備考	シリアンハムスター とも呼ばれる。	キャンベルハムスター、 ロボロフスキーリン ジャンガリアン の小型3種を総称して ドワーフ(矮小)ハムスター ともいう。	大きさはゴールデン とドワーフの中間																																									
種類	ゴールデンハムスター	キャンベルハムスター	チャイニーズハムスター																																									
体長	18 cm	7 ~ 12 cm	9 ~ 12 cm																																									
体重	80 ~ 150 g	30 ~ 45 g	25 ~ 40 g																																									
毛色	背面は茶褐色、 頬、頸側部、 腹は白、目は黒	褐色、茶、白、 グレーなど	毛根部は黒 背面はグレー 腹部は白																																									
備考	シリアンハムスター とも呼ばれる。	キャンベルハムスター、 ロボロフスキーリン ジャンガリアン の小型3種を総称して ドワーフ(矮小)ハムスター ともいう。	大きさはゴールデン とドワーフの中間																																									

関税分類例規集新旧対照表

新		旧		備考																																																			
0106.19	<p><u>6. モルモット</u></p> <p>モルモットはヤマアラシ亜目、テンジクネズミ科に分類される。特徴は頭部が大きく丸みを帯び、頸は短く、全体に丸みを帯び、尾はほとんどない。四肢は短く、前肢に4指、後肢に3指をもつ。つかむと甲高い奇声を発するが性質は極めて温厚である。主なものとしてアビシニアン、ペルビアン、イングリッシュ種がある。ペットとして人気があるのはイングリッシュ、アメリカンショートヘア種、及び15cmもの絹のような長毛を持つペルー種、毛が渦状またはバラ状になっているアビシニアン種がある。</p>  <p><u>主なモルモットの特徴</u></p> <table> <tbody> <tr> <td>種類</td><td>アビシニアン種</td><td>ペルビアン種</td><td>イングリッシュ種</td></tr> <tr> <td>作出国</td><td>英国で作出</td><td>フランスで作出</td><td>英国で作出</td></tr> <tr> <td>体長</td><td>品種による差はあまりない。22~36cm</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>体重</td><td>品種による差はあまりない。成体の体重は雄1kg、雌850g</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>毛色</td><td>いずれの品種も白、黒、褐色、野生色、チョコレート色、クリーム色などを基調とした単毛色の個体と、これらの色が組み合わさった2毛色、3毛がある。</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>備考</td><td>毛は粗剛で比較的短い 体表全体に巻き毛 長毛を有し、巻毛もある。 長毛種はアンゴラともいう。</td><td>ペルー種ともいう。 柔らかい光沢のある直毛である。</td><td>短毛。滑らかで 直毛である。</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(図削除)</p>	種類	アビシニアン種	ペルビアン種	イングリッシュ種	作出国	英国で作出	フランスで作出	英国で作出	体長	品種による差はあまりない。22~36cm			体重	品種による差はあまりない。成体の体重は雄1kg、雌850g			毛色	いずれの品種も白、黒、褐色、野生色、チョコレート色、クリーム色などを基調とした単毛色の個体と、これらの色が組み合わさった2毛色、3毛がある。			備考	毛は粗剛で比較的短い 体表全体に巻き毛 長毛を有し、巻毛もある。 長毛種はアンゴラともいう。	ペルー種ともいう。 柔らかい光沢のある直毛である。	短毛。滑らかで 直毛である。		0106.00	<p><u>6. モルモット</u></p> <p>モルモットはヤマアラシ亜目、テンジクネズミ科に分類される。特徴は頭部が大きく丸みを帯び、頸は短く、全体に丸みを帯び、尾はほとんどない。四肢は短く、前肢に4指、後肢に3指をもつ。つかむと甲高い奇声を発するが性質は極めて温厚である。主なものとしてアビシニアン、ペルビアン、イングリッシュ種がある。ペットとして人気があるのはイングリッシュ、アメリカンショートヘア種、及び15cmもの絹のような長毛を持つペルー種、毛が渦状またはバラ状になっているアビシニアン種がある。</p>  <p>(写真提供 エキゾチック ペット クリニック 霍野 晋吉)</p> <p><u>主なモルモットの特徴</u></p> <table> <tbody> <tr> <td>種類</td><td>アビシニアン種</td><td>ペルビアン種</td><td>イングリッシュ種</td></tr> <tr> <td>作出国</td><td>英国で作出</td><td>フランスで作出</td><td>英国で作出</td></tr> <tr> <td>体長</td><td>品種による差はあまりない。22~36cm</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>体重</td><td>品種による差はあまりない。成体の体重は雄1kg、雌850g</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>毛色</td><td>いずれの品種も白、黒、褐色、野生色、チョコレート色、クリーム色などを基調とした単毛色の個体と、これらの色が組み合わさった2毛色、3毛がある。</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>備考</td><td>毛は粗剛で比較的短い 体表全体に巻き毛 長毛を有し、巻毛もある。 長毛種はアンゴラともいう。</td><td>ペルー種ともいう。 柔らかい光沢のある直毛である。</td><td>短毛。滑らかで 直毛である。</td><td></td></tr> </tbody> </table>	種類	アビシニアン種	ペルビアン種	イングリッシュ種	作出国	英国で作出	フランスで作出	英国で作出	体長	品種による差はあまりない。22~36cm			体重	品種による差はあまりない。成体の体重は雄1kg、雌850g			毛色	いずれの品種も白、黒、褐色、野生色、チョコレート色、クリーム色などを基調とした単毛色の個体と、これらの色が組み合わさった2毛色、3毛がある。			備考	毛は粗剛で比較的短い 体表全体に巻き毛 長毛を有し、巻毛もある。 長毛種はアンゴラともいう。	ペルー種ともいう。 柔らかい光沢のある直毛である。	短毛。滑らかで 直毛である。		 <p>(写真提供 狩野 晋)</p>	
種類	アビシニアン種	ペルビアン種	イングリッシュ種																																																				
作出国	英国で作出	フランスで作出	英国で作出																																																				
体長	品種による差はあまりない。22~36cm																																																						
体重	品種による差はあまりない。成体の体重は雄1kg、雌850g																																																						
毛色	いずれの品種も白、黒、褐色、野生色、チョコレート色、クリーム色などを基調とした単毛色の個体と、これらの色が組み合わさった2毛色、3毛がある。																																																						
備考	毛は粗剛で比較的短い 体表全体に巻き毛 長毛を有し、巻毛もある。 長毛種はアンゴラともいう。	ペルー種ともいう。 柔らかい光沢のある直毛である。	短毛。滑らかで 直毛である。																																																				
種類	アビシニアン種	ペルビアン種	イングリッシュ種																																																				
作出国	英国で作出	フランスで作出	英国で作出																																																				
体長	品種による差はあまりない。22~36cm																																																						
体重	品種による差はあまりない。成体の体重は雄1kg、雌850g																																																						
毛色	いずれの品種も白、黒、褐色、野生色、チョコレート色、クリーム色などを基調とした単毛色の個体と、これらの色が組み合わさった2毛色、3毛がある。																																																						
備考	毛は粗剛で比較的短い 体表全体に巻き毛 長毛を有し、巻毛もある。 長毛種はアンゴラともいう。	ペルー種ともいう。 柔らかい光沢のある直毛である。	短毛。滑らかで 直毛である。																																																				

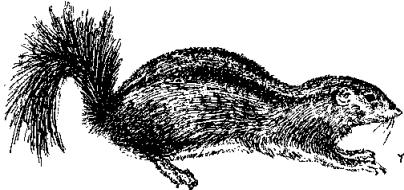
関税分類例規集新旧対照表

	新	旧	備考
0106.19	<p><u>7. プレーリードッグ</u></p> <p>プレーリードッグは野生ではコテリーという単位で1つの巣穴に群で群でいる。手足は短く、ツメが大きく、尾は短く地下生活に適合するようになっている。後脚でヒョコッと立つのが特徴で愛らしさとなっている。危険を仲間に知らせる鳴き声がイヌに似ているのでこの名前が付いた。原産地は北米で草食。体色は褐色や茶色、体長は28 - 33 cmで尾長は3 - 11.5 cm。体重は0.7 - 1.4 kgである。オグロプレーリードッグ(尾の先が黒い) オジロプレーリードッグ(尾の先が白い)がペットとして輸入されている。</p> <hr/>  <p>プレーリードッグには5種類がある。(オジロプレーリードッグ(北米) オグロプレーリードッグ(北米) ユタプレーリードッグ(アメリカユタ州) メキシコプレーリードッグ(メキシコ、ワシントン条約規制種) ガニソンプレーリードッグ(オジロプレーリードッグに類似している。))</p>	<p>0106.00</p> <p><u>7. プレーリードック</u></p> <p>プレーリードックは野生ではコテリーという単位で1つの巣穴に群で群でいる。手足は短く、ツメが大きく、尾は短く地下生活に適合するようになっている。後脚でヒョコッと立つのが特徴で愛らしさとなっている。危険を仲間に知らせる鳴き声がイヌに似ているのでこの名前が付いた。原産地は北米で草食。体色は褐色や茶色、体長は28 - 33 cmで尾長は3 - 11.5 cm。体重は0.7 - 1.4 kgである。オグロプレーリードック(尾の先が黒い) オジロプレーリードック(尾の先が白い)がペットとして輸入されている。</p>  <p>(写真提供 エキゾチック ペット クリニック 霍野 晋吉) プレーリードックには5種類がある。(オジロプレーリードック(北米) オグロプレーリードック(北米) ユタプレーリードック(アメリカユタ州) メキシコプレーリードック(メキシコ、ワシントン条約規制種) ガニソンプレーリードック(オジロプレーリードックに類似している。))</p>	

関税分類例規集新旧対照表

	新	旧	備考
0106.19	<p><u>8. チンチラ</u></p> <p>ヤマアラシ亜目のチンチラ科に属する。南米原産でペルー、ボリビア、チリ、アルゼンチンの岩場の斜面に生息する。南米では乱獲によりほぼ絶滅し、政府の保護下にある。米国に導入された種が飼育下で繁殖しペットとして売られている。大きな耳に丸い体つき、小さな前足などウサギとネズミを合わせたような容貌である。外形はりすにも似るがりすより目と耳が大きい。体長は頭胴長が 25 cm、尾長が 15 cm と長い。体重は 400 ~ 600 g、雌が雄よりも幾分大きい。密生した柔らかな毛皮は最高級品として珍重される。夜行性であるが日中に活動することも出来、非常に活動的な動物である。</p> <hr/>  <hr/> <p>野生では毛色はくすんだ灰青色であるが、突然変異で白、銀、ベージュ、黒がある。足底には全く被毛は生えていない。ホワイト、ブラックベルベット、バイオレットなどがある。</p> <p>(削除)</p>	<p>0106.00</p> <p><u>8. チンチラ</u></p> <p>ヤマアラシ亜目のチンチラ科に属する。南米原産でペルー、ボリビア、チリ、アルゼンチンの岩場の斜面に生息する。南米では乱獲によりほぼ絶滅し、政府の保護下にある。米国に導入された種が飼育下で繁殖しペットとして売られている。大きな耳に丸い体つき、小さな前足などウサギとネズミを合わせたような容貌である。外形はりすにも似るがりすより目と耳が大きい。体長は頭胴長が 25 cm、尾長が 15 cm と長い。体重は 400 ~ 600 g、雌が雄よりも幾分大きい。密生した柔らかな毛皮は最高級品として珍重される。夜行性であるが日中に活動することも出来、非常に活動的な動物である。</p>  <p>(写真提供 エキゾチック ペット クリニック 霍野 晋吉)</p> <p>野生では毛色はくすんだ灰青色であるが、突然変異で白、銀、ベージュ、黒がある。足底には全く被毛は生えていない。ホワイト、ブラックベルベット、バイオレットなどがある。</p>  <p>(写真提供 狩野 晋)</p>	

関税分類例規集新旧対照表

新		旧		備考																																																								
0106.19	<p>9. りす</p> <p>リス科の動物の総称で極地、オーストラリア以外の全世界に分布する。樹上生活をするものと地上や地中で生活する（ジリス）種がある。最近ペットとして輸入されるリチャードソンジリスはミニプレーリードッグとも呼ばれる。カナダとアメリカ合衆国北部の山地や草原に生息する。頭胴長は約 13~40cm、尾長は約 4~25cm。通常、腹部は黄色味を帯びた白色で、背中はダークブラウン。体重は 300~600g。ジリスにはベルディングジリス、リチャードソンジリス、ホシジリス、ジュウサンセンジリスなどがある。またハタリスには、ヨーロッパハタリス、中国ハタリス（大連ハタリス）などがある。</p>  <p>リス科の動物には 49 属 268 種が含まれる。</p> <table border="0"> <tr> <td>種類</td><td>シマリス</td><td>三毛リス</td><td>アカリス</td></tr> <tr> <td>原産地</td><td>アジア東北部</td><td>マレー半島</td><td>ヨーロッパ中部</td></tr> <tr> <td></td><td>北海道</td><td>スマトラ島</td><td>アメリカなど</td></tr> <tr> <td>体長</td><td>頭胴長 15 cm</td><td>20 cm</td><td>30 cm</td></tr> <tr> <td></td><td>尾長 14 cm</td><td>15 cm</td><td>20 cm</td></tr> <tr> <td>体重</td><td>100 g</td><td>300 g</td><td>350 g</td></tr> <tr> <td>毛色</td><td>背面は 5 本の縦縞の入った茶色、腹部は白</td><td>背面から尾は黒、赤褐色、オレンジなど</td><td>背面はオレンジ、腹部は白。前肢から脇は黄褐色、キタリスとも呼ばれる。腹部は白</td></tr> </table> <p>(図削除)</p>	種類	シマリス	三毛リス	アカリス	原産地	アジア東北部	マレー半島	ヨーロッパ中部		北海道	スマトラ島	アメリカなど	体長	頭胴長 15 cm	20 cm	30 cm		尾長 14 cm	15 cm	20 cm	体重	100 g	300 g	350 g	毛色	背面は 5 本の縦縞の入った茶色、腹部は白	背面から尾は黒、赤褐色、オレンジなど	背面はオレンジ、腹部は白。前肢から脇は黄褐色、キタリスとも呼ばれる。腹部は白	0106.00	<p>9. りす</p> <p>リス科の動物の総称で極地、オーストラリア以外の全世界に分布する。樹上生活をするものと地上や地中で生活する（ジリス）種がある。最近ペットとして輸入されるリチャードソンジリスはミニプレーリードックとも呼ばれる。カナダとアメリカ合衆国北部の山地や草原に生息する。頭胴長は約 13~40cm、尾長は約 4~25cm。通常、腹部は黄色味を帯びた白色で、背中はダークブラウン。体重は 300~600g。ジリスにはベルディングジリス、リチャードソンジリス、ホシジリス、ジュウサンセンジリスなどがある。またハタリスには、ヨーロッパハタリス、中国ハタリス（大連ハタリス）などがある。</p>  <p>(写真提供 エキゾチック ペット クリニック 霍野 晋吉)</p> <p>リス科の動物には 49 属 268 種が含まれる。</p> <table border="0"> <tr> <td>種類</td><td>シマリス</td><td>三毛リス</td><td>アカリス</td></tr> <tr> <td>原産地</td><td>アジア東北部</td><td>マレー半島</td><td>ヨーロッパ中部</td></tr> <tr> <td></td><td>北海道</td><td>スマトラ島</td><td>アメリカなど</td></tr> <tr> <td>体長</td><td>頭胴長 15 cm</td><td>20 cm</td><td>30 cm</td></tr> <tr> <td></td><td>尾長 14 cm</td><td>15 cm</td><td>20 cm</td></tr> <tr> <td>体重</td><td>100 g</td><td>300 g</td><td>350 g</td></tr> <tr> <td>毛色</td><td>背面は 5 本の縦縞の入った茶色、腹部は白</td><td>背面から尾は黒、赤褐色、オレンジなど</td><td>背面はオレンジ、腹部は白。前肢から脇は黄褐色、キタリスとも呼ばれる。腹部は白</td></tr> </table> <p>(写真提供 狩野 晋)</p>	種類	シマリス	三毛リス	アカリス	原産地	アジア東北部	マレー半島	ヨーロッパ中部		北海道	スマトラ島	アメリカなど	体長	頭胴長 15 cm	20 cm	30 cm		尾長 14 cm	15 cm	20 cm	体重	100 g	300 g	350 g	毛色	背面は 5 本の縦縞の入った茶色、腹部は白	背面から尾は黒、赤褐色、オレンジなど	背面はオレンジ、腹部は白。前肢から脇は黄褐色、キタリスとも呼ばれる。腹部は白	
種類	シマリス	三毛リス	アカリス																																																									
原産地	アジア東北部	マレー半島	ヨーロッパ中部																																																									
	北海道	スマトラ島	アメリカなど																																																									
体長	頭胴長 15 cm	20 cm	30 cm																																																									
	尾長 14 cm	15 cm	20 cm																																																									
体重	100 g	300 g	350 g																																																									
毛色	背面は 5 本の縦縞の入った茶色、腹部は白	背面から尾は黒、赤褐色、オレンジなど	背面はオレンジ、腹部は白。前肢から脇は黄褐色、キタリスとも呼ばれる。腹部は白																																																									
種類	シマリス	三毛リス	アカリス																																																									
原産地	アジア東北部	マレー半島	ヨーロッパ中部																																																									
	北海道	スマトラ島	アメリカなど																																																									
体長	頭胴長 15 cm	20 cm	30 cm																																																									
	尾長 14 cm	15 cm	20 cm																																																									
体重	100 g	300 g	350 g																																																									
毛色	背面は 5 本の縦縞の入った茶色、腹部は白	背面から尾は黒、赤褐色、オレンジなど	背面はオレンジ、腹部は白。前肢から脇は黄褐色、キタリスとも呼ばれる。腹部は白																																																									

関税分類例規集新旧対照表

	新	旧	備考
0106.20	<p>1. 爬虫類</p> <p><u>爬虫類の体表は角質化した鱗でおおわれ、鳥類やほ乳類にある羽毛や毛は生えていない。薄くて裸のままの両生類の皮膚に比べ水分を通しにくく、乾燥に耐えられるので、より陸上生活に適応している。ヘビや一部のトカゲの仲間のように例外はあるが、基本的には四肢はよく発達しており、普通四肢には5本の指があり、先端には爪を備えている。現生の爬虫類は約6,500種が知られ、それぞれの特徴により、わに目、かめ目、有鱗目、かい頭目（ムカシトカゲ類）に分けられる。</u></p>		(新設)
0106.20	<p>2. かめ目</p> <p><u>かめ類は、鱗の他に丈夫な甲羅が発達している。熱帯から温帯にかけ約240種が分布。かめの甲羅は背中側に背甲、腹側に腹甲があり、両脇が甲橋でつながっており前後の開いた箱状をしている。前方からは頭と前肢、後方からは尾と後肢が出ている。現生のかめ類は歯がなく、上、下顎ともに鳥のくちばしのように角質で覆われている。</u></p> <p><u>かめ類は大きく分けて、潜頸類と曲頸類に分けられ、前者は、頭を甲羅の中に前を向いた状態のまま潜り込ませる。後者は、長い頸を持った種類が多く、頸を引っ込める際には頸を水平に曲げ、背甲と腹甲の隙間に折り曲げるようにしてはめ込まれる。</u></p> <p>(図省略)</p>		(新設)

関税分類例規集新旧対照表

	新	旧	備考
0106.20	<p>3. その他のもの</p> <p><u>わに目</u> : 現生するもっとも大型の爬虫類で、主に熱帯や亜熱帯の水辺に棲息する。体表は大きな板状の鱗で覆われ、外見上鎧をまとっているように見える。特に頸や背面には大きな固い鱗があり、また、尾の背面には三角形の突起が並んでいる。太くて短い四肢を持ち、前肢に5本、後肢に4本の指があり、後肢の指間には水かきを具えている。鼻、目、耳は水平に付いており、そこだけを水面に出して休んだりすることができる。</p> <p>(図省略)</p> <p><u>有鱗目</u> : 極地を除くあらゆる地域に棲息する。体表には小さな鱗が全身を覆っている。有鱗目はトカゲ類とヘビ類の2つのグループに分けられる。</p> <p><u>トカゲ類</u></p> <p>細長い体型で長い尾があり、基本的には四肢が発達してそれぞれに5本の指を具えているが、中には四肢が退化して縮小したりなくなったものもいる。イグアナ科、カメレオン科、ヤモリ科、トカゲ科、アガマ科、カナヘビ科、ドクトカゲ科、オオトカゲ科など16科に分けられる。</p> <p>・<u>イグアナ科</u></p> <p>北米南部から南米まで広く分布し、一部はマダガスカルやフィジーなどにもいる。体型はさまざまで、乾燥地帯の地上棲のものは褐色でざんぐりしているが、樹上棲のグリーンアノールやグリーンイグアナはスリムな体型で体色も緑色である。グリーンイグアナは全長が180cmになり、この仲間には、頭部や背中にひだや突起状の飾りのあるものが多くいる。</p> <p>(図省略)</p> <p>(次葉へ)</p>	(新設)	

関税分類例規集新旧対照表

新	旧	備考
<p>(前葉より)</p> <p>・カメレオン科 <u>アフリカ、マダガスカル、インドに分布するもっとも樹上生活に適した種類。四肢の指は2本と3本がくっついて木の枝をつかみやすくなっている。尾も枝などに巻き付けることができる。目は突出していて左右を別に動かすことができる。体色を環境に合わせて変化させることができ、動作も非常に緩慢である。普通は全長30cmほどであるが、大きな種類は70cmほどになる。</u> (図省略)</p> <p>・ヤモリ科 <u>熱帯から温帯にかけて棲息し、四肢の指が吸盤状に広がり、その下面に細かい毛状の突起がならんでおり、滑らかな垂直面でも登ることができる。</u> (図省略)</p> <p>・トカゲ科 <u>熱帯から温帯にかけて棲息し、体型は細長く小さめの四肢がある。普通体表には光沢があり、孵化したての小さなトカゲは尾が鮮やかな青色で、胸には明るい縦のすじがある。</u></p> <p>・オオトカゲ科 <u>アフリカからインド、東南アジア、ニューギニアを経てオーストラリアに分布。全長1mを超える大型の種類が多いが、20cmの小型のものもいる。四肢や尾は発達し、尾をむちのように振って武器として使う。先端が2つに分かれた舌を持つ。</u> (図省略)</p> <p>(次葉へ)</p>		

関税分類例規集新旧対照表

新	旧	備考
<p>(前葉より)</p> <p><u>ヘビ類</u></p> <p><u>四肢を持たない細長いひも状の体型を持つ。目はまぶたに癒着しており開閉することはない。ニシキヘビ科、ナミヘビ科、コブラ科、ウミヘビ科、クサリヘビ科など11科ほどに分けられている。</u></p> <p>(図省略)</p> <p><u>かい頭（ムカシトカゲ）目：体型はトカゲに似ているが、吻端がややとがり、くちばしのようになっている。ずんぐりした体型で、頸、背中、尾に棘状の突起がある。目は大きく瞳は垂直で、頭頂に第3の目といわれる頭頂眼がある。現在ではムカシトカゲ1種のみがニュージーランドに生き残っているが、厳重に保護されているため、日本に輸入されることはない。</u></p>		

鳥類分類別規集新旧対照表

	新	旧	備考
0106.32	<p><u>1. おうむ目</u></p> <p>オウム科、ヒインコ科、インコ科からなるが、科の違いを認めない説もある。おうむ目は、外見上からインコとオウムに分かれ、一般にインコは小型で色彩に富み尾が長い。オウムは中・大型で尾が短く冠羽(頭に直立する羽)が発達している。インコはインコ科、ヒインコ科に相当するが、例外がある。ニューギニア・オーストラリア・南アメリカに多く分布し、アフリカ、熱帯アジアにも少数が分布する。頭は大きく、丸く下に曲がった大きな嘴を持つ。</p> <p><u>インコ科</u></p> <p>ミヤマオウム、ケラインコ、ヨウム、フクロオウムの4亜科からなる。オーストラリア・ニューギニア・熱帯アジア・アフリカ・南アメリカに分布。上嘴は下嘴よりも大きく、先端にやすり目がある。外鼻孔は小さく円形。植物食で、森林性・樹上性の鳥が多いが、草原性・地上性の種もいる。大きさはさまざまで全長9~100cm。尾の長さも長短がある。</p> <p><u>ヒインコ科</u></p> <p>上嘴の先端には他科にあるやすり目がない。蝶膜は帯状で、小さな鼻孔が開孔する。舌の先端はブラシ状で、主に花蜜・花汁や柔らかい果実をなめとる。種子を食べる種はない。行動は非常に活発である。オーストラリアとニューギニアに多くの種が産し、ほかにインド東部・フィリピン・ポリネシアまで分布。</p> <p><u>オウム科</u></p> <p>オウム亜科、オカメインコ亜科からなる。オーストラリアを中心に分布。大型短尾のオウム亜科が多く、オカメインコ亜科は中型長尾。長い冠羽を持つ。下嘴は上嘴よりも幅が広く、下嘴が上嘴の側部を包む。上下の嘴には歯のような欠刻があり、上嘴先端はやすり状になっている。主に森林性で、堅果や果実を食べる。</p> <p>(三省堂『コンサイス鳥名事典』より) (図省略)</p>	(新設)	

関税分類例規集新旧対照表

	新	旧	備考
0106.39	<p>1. はと目</p> <p><u>ドードー科(すでに絶滅) ハト科、サケイ科からなる。</u></p> <p><u>ハト科</u></p> <p><u>全長 14~84cm。すんぐりした胴と小さめの頭を持ち、大きな胸骨には発達した筋肉が付き、高速長距離飛行ができる。頸と足は短く、小さく短い嘴の基部にはろう膜か鼻瘤がある。ほとんどの種が雌雄同色。羽は密で豊かで、華やかな色彩に富む種が多い。</u></p> <p><u>羽は抜けやすく、かつ羽粉を生じやすい。主に樹上性で、営巣・休息はほとんどの種が樹上性であるが、採食のために地上におりことが多い。食物は主に植物質で、種子・果実・液果などを食べる。水を大量に飲む。このとき、嘴を水中につけたまま吸引するのはハト目の特徴。極地と砂漠を除く全世界に分布し、孤島に生息するものも少なくない。植物食なので飼いやすく、しばしば飼鳥とされ、特にカワラバトは家禽化されて食用・愛玩用などに多くの品種が作出されている。</u></p> <p style="text-align: center;">(三省堂『コンサイス鳥名事典』より)</p> <p style="text-align: center;">(図省略)</p> <p><u>サケイ科</u></p> <p><u>全長 23~40cm。細長い翼、長い尾、極端に短い足を持ち、ヨーラシア、アフリカの荒地に生息。形態は似ていないが骨格や筋肉などはハト科に類似し、水飲法もハト科と同じく嘴を水につけたうつむいた姿勢のままで連続的に水を飲み込むことができる。</u></p> <p style="text-align: center;">(三省堂『コンサイス鳥名事典』より)</p> <p style="text-align: center;">(図省略)</p>	(新設)	

関税分類例規集新旧対照表

	新	旧	備 考
0106.90	<p><u>その他のもの</u></p> <p><u>0106.90 - 010 両生類</u></p> <p><u>現生の両生類は、無足目（アシナシイモリ）、有尾目（イモリ、サンショウウオ）、無尾目（カエル）に分類される。一般的な特徴として、体表に鱗、羽毛、毛がなく、前肢に4本、後肢に5本の指を持ち、肺で呼吸し、変温性である。卵生または卵胎生で、水中で遊泳幼生期を過ごす種が多い。無足目は熱帯、有尾目は北半球の温帯を中心に分布し、無尾目は全世界に分布する。</u></p> <p>（図省略）</p>		<p>（新 設）</p>